

REPORT:

西日本委員会

<JPDA西日本勉強会> Reborn Vol.2

「京の驚愕の仕事師 - 和紙（わがみ）から」

[担当理事] 井上 聡／奥田一明／藤田 隆／森 孝幹

[担当委員] 竹林善孝（委員長）／坂東由章／延安敬子／金谷知佳／新井 好／林野 修

開催日時	平成23年9月30日（金）15：00～17：30
開催場所	株式会社 大入
出席者数	21名
講師	株式会社大入 大入 達男氏

今回の勉強会は、修復・保存・装幀・複製に伝統的な技法を生かす経師の株式会社大入さんを訪ね、社長の大入達男氏に講演をお願いしました。

大入氏は、父・大入百太郎に師事し職人として経師の修業を積み、昭和62年に株式会社大入を設立。

経師本来の経巻や和本の仕立に始まり、美術品の修復、保存、レプリカの製作などにおいて、伝統的な技法を生かすとともに現代科学を取り入れて、多様な技術研究・開発に取り組んでこられました。

講演は、会社の一室をお借りして、「経師」の解説からはじまり「どんな相談も断らなかった結果」とおっしゃる幅広い仕事と、真贋の見分けがつかないレプリカや新聞紙の2枚はぎなど驚きの技術の一端を紹介していただきました。

後半は工房を見学し、職人の方々の誠実な仕事ぶり、約2m×2mのイメージが取込める大型スキャナー（襖絵など収蔵場所まで運びスキャン可能）などの設備も見せていただきました。

実際、京都の職人さんの間では、ややこしい仕事はまず大入さんに相談してみろといわれています。

デザイナーとのコラボレーションにも積極的ですので、何かの時の心強い相談相手になっていただけると、あらためて確信しました。